



お知らせします。

平成22年度決算報告

# 村の家計簿

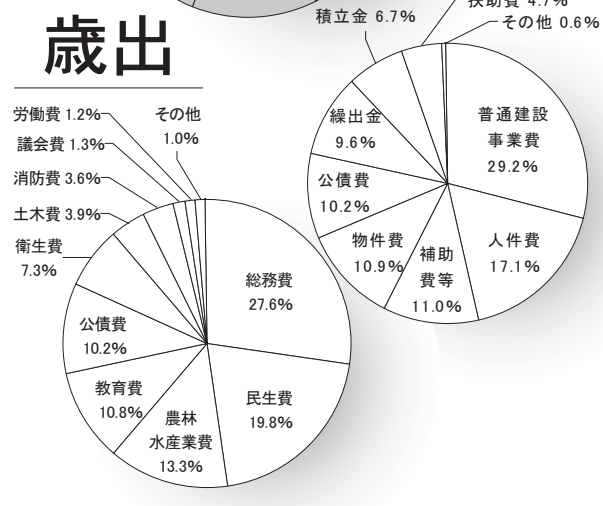
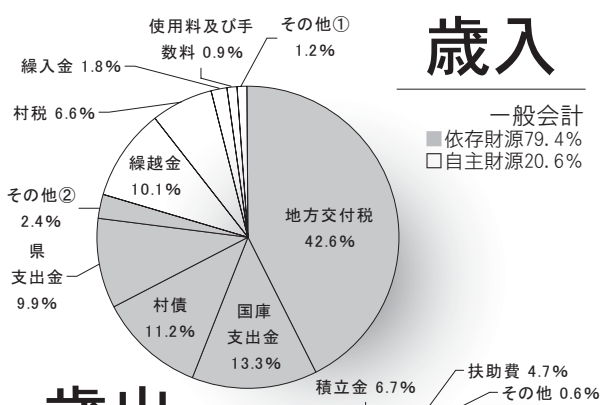
村の平成22年度の決算がまとまり、9月中旬に行われた第9回村議会定例会で認定されました。村では、依然として厳しい財政運営を強いられる中、職員一人ひとりが創意・工夫し、少ない財源を効果的に活用しながら、第3次鮫川村振興計画に基づき、「まめな暮らしを生かした村づくり」を基本理念に、4つの基本政策を展開する事業を進めてきました。

平成22年度の決算額は、一般会計では歳入(収入)が39億7,838万円、歳出(支出)が36億2,205万円です。差し引き3億5,633万円の黒字、特別会計の総額(10会計)では、歳入が12億9,215万円、歳出が12億3,606万円です。差し引き5,609万円の黒字となりました。

今月は、平成22年度決算のあらましをお知らせします。

## 一般会計 歳入

一般会計の歳入総額は、前年度と比較すると1億4,429万円(3.8%)の増加となりました。これは、地方交付税や村債、県支出金が増えたことによります。



## 会計別決算の状況

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	39億7,838万円	36億2,205万円	3億5,633万円
特別会計	12億9,215万円	12億3,606万円	5,609万円
国民健康事業勘定	5億807万円	4億8,064万円	2,743万円
保険直診勘定	8,520万円	7,782万円	738万円
老人保健	16万円	16万円	0万円
簡易水道事業	8,545万円	8,110万円	435万円
村営バス事業	1,053万円	1,013万円	40万円
集落排水事業	3,249万円	2,936万円	313万円
介護保険	3億8,894万円	3億7,880万円	1,014万円
交流施設	1,549万円	1,394万円	155万円
学校給食センター	1億3,174万円	1億3,004万円	170万円
後期高齢者医療	3,408万円	3,407万円	1万円
決算総額	52億7,053万円	48億5,811万円	4億1,242万円

## 歳入決算の状況(一般会計)

区分	決算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源	8億2,078万円	20.6	△789万円	△1.0
繰越金	4億243万円	10.1	7,971万円	24.7
村税	2億6,158万円	6.6	△1,242万円	△4.5
繰入金	7,325万円	1.8	△7,783万円	△51.5
使用料及び手数料	3,527万円	0.9	67万円	1.9
その他①	4,825万円	1.2	198万円	4.3
依存財源	31億5,760万円	79.4	1億5,218万円	5.1
地方交付税	16億9,234万円	42.6	1億300万円	6.5
国庫支出金	5億2,978万円	13.3	△7,676万円	△12.7
村債	4億4,470万円	11.2	6,220万円	16.3
県支出金	3億9,270万円	9.9	6,222万円	18.8
その他②	9,808万円	2.4	152万円	1.6
計	39億7,838万円	100.0	1億4,429万円	3.8

※その他①=分担金及び負担金、財産収入、寄附金、諸収入/その他②=地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策交付金

## 性質別歳出決算の状況(一般会計)

区分	決算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
普通建設事業費	10億5,631万円	29.2	1億4,096万円	15.4
人件費	6億1,820万円	17.1	618万円	1.0
補助費等	3億9,690万円	11.0	△1億347万円	△20.7
公債費	3億9,443万円	10.9	6,539万円	19.9
物件費	3億7,106万円	10.2	△495万円	△1.3
繰出金	3億4,892万円	9.6	5,627万円	19.2
積立金	2億4,455万円	6.7	4,441万円	22.2
扶助費	1億7,046万円	0.7	△1,241万円	△6.8
その他	2,122万円	0.6	△199万円	△44.3
計	36億2,205万円	100.0	1億9,039万円	5.5

※その他=維持補修費、投資及び出資金貸付金、災害復旧事業費

## 目的別歳出決算の状況(一般会計)

区分	決算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
総務費	10億91万円	27.6	2億7,294万円	37.5
教育費	7億1,713万円	19.8	2億667万円	40.5
農林水産業費	4億8,272万円	13.3	△2,916万円	△5.7
民生費	3億9,174万円	10.8	△2億9,549万円	△43.0
公債費	3億7,106万円	10.2	△495万円	△1.3
衛生費	2億6,371万円	7.3	2,431万円	10.2
土木費	1億3,995万円	3.9	△48万円	△0.3
消防費	1億2,864万円	3.6	1,851万円	16.8
議会費	4,680万円	1.3	△13万円	△0.3
労働費	4,439万円	1.2	161万円	3.8
その他	3,500万円	1.0	△344万円	△9.0
計	36億2,205万円	100.0	1億9,039万円	5.5

※その他=商工費、災害復旧費

【用語解説】 ■人件費…職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使われるお金。 ■普通建設事業費…道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使われるお金。 ■補助費等…各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使われるお金。 ■物件費…委託料や消耗品、備品の購入などに使われるお金。 ■公債費…村債の元利償還金。 ■繰出金…一般会計から特別会計へ繰り出すお金。 ■扶助費…高齢者や障害者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使われるお金。 ■維持補修費…道路や公共施設などの補修に使われるお金。

歳入は、その調達方法により自主財源と依存財源の2つに分けられます。自主財源の中で最も多いのは、21年度からの繰越金で、前年度に比べ7971万円(24.7%)増の4億243万円となりました。これは、パン工房の新築事業や村民保養施設

建設事業、子どもセンター体育館や青生野小学校、公民館の耐震補強改修事業などが22年度に繰り越されて実施されたことによります。続いて、みなさんに納めていただく村税が2億6158万円(前年度比12.4%)、4.5%減となりました。これは、長引く経済不況の影響を受け、個人村民税が減少したことによるものです。

歳出は、全体で36億2,205万円(前年度比1億9,039万円、5.5%増)となりました。性質別では、普通建設事業費が前年度より1億4,096万円(15.4%)増の10億5,631万円、最も多く、人件費の6億1,820万円(前年度比618万円、1.0%増)、補助費等の3億9,690万円(前年度比△1億347万円、20.7%減)と続きます。普通建設事業費が増加したのは、国の臨時交付金や補助金を活用した21年度からの繰越事業が多かったためで、前述の事業のほか、村農業者トレーニングセンター屋根の葺き替え工事や鹿角平観光牧場管理棟、交流施設などの改修事業、光ファイバ網整備事業、移動通信用基地局施設整備事業、館山公園の花木購入・遊具設置事業などを実施しました。

【用語解説】 ■自主財源…村税(村民税や固定資産税など村の税金)や使用料(保育料や住宅使用料など)、財産収入、寄附金など村が自分の手で確保できるお金。 ■依存財源…地方交付税や国庫支出金、県支出金、地方債など国の基準に基づき交付されたり、割り当てられるお金。 ■地方交付税…すべての自治体が一定水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金。普通交付税と特別交付税の2つからなる。 ■繰入金…各種基金から繰り入れるお金。 ■村債(地方債)…道路改良や住宅建設、水道整備などのさまざまな事業を行うために長期間借り入れるお金。

特別会計とは、特定の事業を特定収入で行うために予算を分けて独立して設けた会計をいいます。村には、国民健康保険(事業勘定直診勘定)、老人保健、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学校給食センター、後期高齢者医療の10の会計があり、22年度の特別会計の決算総額は歳入が12億9,215万円(前年度比2086万円、1.6%減)、歳出が12億3,606万円(前年度比319万円、1.1%減)となりました。

特別会計とは、特定の事業を特定収入で行うために予算を分けて独立して設けた会計をいいます。村には、国民健康保険(事業勘定直診勘定)、老人保健、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学校給食センター、後期高齢者医療の10の会計があり、22年度の特別会計の決算総額は歳入が12億9,215万円(前年度比2086万円、1.6%減)、歳出が12億3,606万円(前年度比319万円、1.1%減)となりました。



Vision4 <農村の人づくりと産業ビジョン>  
**人づくりと地域産業の育成を「まめ」に**

地域から世界を見ることが出来る人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現

①学校教育の充実

- 青生野小学校校舎耐震改修工事 6,506万円
- 学校情報通信技術整備事業(小・中学校のパソコン、テレビ、電子黒板、音響機器整備、幼稚園・公民館テレビ購入) 3,385万円
- 小・中学校理科備品購入 385万円

②生涯学習の充実

- 公民館耐震補強工事・大集会室暖房入替工事 6,200万円
- 体育施設屋根改修事業(トレンセン屋根改修工事) 3,254万円
- 放課後児童クラブ施設改修工事(鮫川小校舎) 538万円

③安心安全、顔の見える農業の振興

- 地域バイオマス利活用交付金事業(豊かな土づくセンター第1期建築工事、八斗峠地内排水路整備工事ほか) 1億4,576万円
- 水田農業作付条件整備事業(暗渠排水補助) 200万円
- 有害鳥獣駆除・わな猟狩猟免許取得助成 51万円

④ふるさと森を守り育てる

- 松くい虫防除対策事業(被害木調査・伐倒駆除) 342万円

⑤商工業の振興、雇用機会の確保

- 緊急雇用基金創出基金事業(村道支障木・日陰林伐採事業、村管理地周辺整備事業、村臨時職員雇用ほか) 3,058万円
- ふるさと雇用再生特別基金事業(新加工品・自主製品販売促進活動業務、有機農業推進・6次産業振興業務ほか) 2,297万円
- 商工会支援事業(商工会への補助金) 384万円

⑥村の特徴を活かした観光

- 観光振興事業(うまいもの祭り補助金、農村公園管理、観光パンフレット作成など) 259万円
- クロスカントリーコース整備事業 336万円
- 鹿角平観光牧場管理棟改修工事 499万円

⑦その他

- 議会活動費 4,680万円
- 参議院議員通常選挙 457万円
- 福島県知事選挙 405万円
- 統計調査(国勢調査、工業統計調査など) 230万円
- 地方振興費(各行政区長等報酬、行政区への補助金など) 1,451万円
- 地籍調査事業(大戸中第2地区、第3地区) 1,024万円
- 公債費償還(借入金返済) 3億7,106万円

Vision3 <農村の暮らしビジョン>  
**生活安心を「まめ」な協力で**

みんなが安心して生活できる村の実現

①安心生活ができる公共交通づくり

- 地方バス路線維持対策事業(福島交通バス補助金2路線、村営バス特別会計繰出金) 1,255万円

②安心生活を支える情報

- 光ファイバ網整備事業 1億4,663万円
- 携帯電話エリア整備事業(遠ヶ竜地区、中沢地区、岫長地区、塚本地区、蕨ノ草地区) 8,525万円

③多様な暮らしの工夫

- 公営住宅建設事業(宿ノ入団地) 7,733万円

④火災と災害への備え

- 広域消防運営費(白河地方広域圏常備消防負担金) 7,473万円
- 非常備消防費(消防団員報酬、公務災害補償など) 1,973万円
- 消防施設整備事業(小型動力ポンプ積載車2台ほか) 963万円
- 全国瞬時警報システム整備事業(J-ALERT) 733万円
- 福島県総合情報ネットワークシステム更新事業 556万円

⑤安心安全の地域づくり

- 交通安全・防犯対策事業(交通安全用品、路面凍結注意看板購入、防犯灯設置・修繕ほか) 251万円

⑥安心生活ができる保険・医療・福祉の充実

- 村民保養施設整備事業(平成22年度支出分) 1億4,520万円
- 住民健康診査事業(健診業務委託など) 958万円
- 予防接種事業(インフルエンザ予防接種など) 532万円

⑦安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実

- 社会福祉協議会活動費(社会福祉活動、心配ごと相談) 2,999万円
- 敬老祝金支給事業 281万円
- 筋力づくり教室 199万円

⑧子育て支援体制づくり

- こどもセンター運営事業(施設管理、通園対策、子育て支援、保育園・幼稚園運営) 1億8,399万円
- 児童手当および子ども手当 6,677万円
- 乳幼児紙おむつ給付事業(月5,000円、0・1歳児) 375万円
- 出産祝金支給事業 82万円

⑨障害者の支援体制づくり

- 障害者福祉事業(自立支援給付費扶助) 2,509万円
- 重度心身障害者支援事業(重度心身障害者医療費) 725万円



▶①新ボイラーで加温された掛け流しの温泉が人気を博しているさざり荘(上段：施設全景、下段：左から浴室、薪ボイラー、サウナ)▶②館山公園内に設置された遊具は子どもたちの人気スポット▶③良質な堆肥やバイオディーゼル燃料を製造し、バイオマス利活用の拠点となる豊かな土づくりセンター▶④学校情報通信技術整備事業により小・中学校の情報通信環境が整った。▶⑤既存の施設の裏側に加工所、隣にパン工房(喫茶店)が整備され、施設が充実した手まめ館▶⑥耐震補強改修工事が実施された青生野小学校。

Vision2 <農村の環境ビジョン>  
**農村の景観の維持と活用を「まめ」な暮らしで**

自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現

①道路網・道路環境の整備

- 県営農道整備事業(東野中部農道整備事業負担金) 937万円
- 県単林道整備事業(林道上大塩見渡線、林道戸倉線) 707万円
- 森林居住環境整備事業(林道前沼八斗峠線) 5,610万円
- 路網整備事業(作業道中沢草木線) 2,579万円
- 村道・橋梁維持管理事業(除雪作業、道路環境美化、維持補修工事、日陰林伐採、原材料支給など) 2,102万円
- 村道新設改良事業(馬場後田中線、遠ヶ竜草線) 948万円

③公園・緑地の整備

- 館山公園整備事業(遊具設置工事、花木購入) 896万円
- 緑の文化財保全対策事業(熊野神社の杜) 80万円

④水環境・環境の保全と再生

- 簡易水道運営事業(簡易水道特別会計繰出金) 5,998万円
- 簡易水道水源林用地立木補償費 683万円

⑤水を大切に、環境に配慮した排水の処理

- 浄化槽設置整備事業(合併処理浄化槽7基設置ほか) 294万円
- 集落排水運営事業(集落排水事業特別会計繰出金) 2,128万円

⑥その他

- 東白衛生組合・東白斎苑負担金 7,547万円

村民1人あたりに使われるお金は878,499円(前年度比56,345円増)です。

総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	242,762円 (68,357円増)	衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	63,961円 (6,605円増)
民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	173,935円 (9,290円増)	土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	33,945円 (300円増)
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	117,079円 (5,555円減)	消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	31,202円 (4,814円増)
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	95,014円 (27,282円減)	議会費	村議会運営のためのお金	11,350円 (107円増)
公債費	地方債(村の借入金)を返済するためのお金	89,998円 (85円減)	その他	商工業の振興、失業対策、災害復旧などのためのお金	19,255円 (204円減)

※一般会計のみ。H23.3.31現在の人口4,123人で計算。

**使いみち**  
 第3次鮫川村振興計画  
**【まめな暮らしを生かした村づくり】**  
 H22 決算  
 第3次鮫川村振興計画に基づく各分野のお金の使いみちをお知らせします。

Vision1 <農村の再生ビジョン>  
**地域資源の活用を「まめ」に**

独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現

①環境と健康を食べる

- 加工・直売所整備事業(加工所・パン工房新築など) 6,012万円
- 農産物加工・直売所運営事業(大豆購入補助、加工品開発、市場開拓、厨房機器購入、施設改修など) 4,858万円
- エゴマ用異物除去装置整備事業 131万円
- まめで達人な村づくりプロジェクト事業(特産品開発、アイディア料理コンテスト・郷土料理を楽しむ会開催など) 122万円

②農村の景観と文化を生かす

- 中山間地域等直接支払交付金・推進事業 1億351万円
- 交流施設改修・運営(交流施設特別会計繰出金) 1,402万円
- 森林環境税交付金事業(森林整備計画策定、小・中学校森林環境学習推進、児童用机天板購入など) 271万円
- 緑のふるさと協力隊受入事業 163万円
- グリーン・ツーリズム推進事業(子ども教育旅行、農大カレッジ講座などの受入れ、受入農家研修、協力報償など) 60万円
- 農村交流施設(山王の里)管理委託 62万円